

平成 29 年 12 月 1 日

厚生労働大臣

加 藤 勝 信 様



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

全国社会福祉法人経営者協議会
会 長 磯 彰 格

良質で利用者が安心できる障害福祉サービス推進のための 平成 30 年度障害福祉サービス費改定への提言

平成 30 年度障害福祉サービス費の改定にあたっては、利用者の尊厳、主体性を尊重し、自立と社会参加を支える障害福祉サービスの理念に沿って、質の高いサービスを提供する事業者を適切に評価する仕組みをつくり、悪質な事業者の参入を防ぎ、良質な事業者を増やすことを重視してください。

その上で、以下の点について要望いたします。

記

1. 良質で利用者が安心できる障害福祉サービスのための人材の確保・定着への取り組みのために

- 良質で利用者が安心できる障害福祉サービスを支える人材の確保は極めて厳しい状況にあります。今回の障害福祉サービス費の改定により、福祉人材の処遇向上が実現し、福祉現場で働くすべての職員の労働環境改善につながることを要望します。
- 厚生労働省「平成 29 年障害福祉サービス等経営実態調査結果」では、全サービスの収支差率は前回改定前から 3.7 ポイント低下しています。さらに、社会福祉施設職員等退職手当共済制度における公費助成廃止により、法人の掛金負担が経営に大きな影響を与えることが懸念されるため、報酬への反映を強く要望します。
 - (1) 社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成相当分の報酬への反映
 - (2) 処遇改善加算の対象職種、事業の拡充
 - (3) 人材確保の障壁となっている地域区分間の格差を調整する仕組みの検討

2. 障害者支援施設等が地域で果たす役割への適切な評価と充実

- 利用者に対し質の高いサービスを提供し、また、地域で暮らす障害児者の安心・安定した生活の維持に向けて、多機能化を図りながら役割を果たせるよう、障害者支援施設等の役割と機能について適切な評価と充実を要望します。

3. 地域共生社会に向けた障害福祉サービスの役割と制度設計の検討

- 地域共生社会の実現に向けて、社会福祉法人・社会福祉施設、事業所が活躍できるよう制度設計の検討を要望します。
 - (1) 地域共生社会の実現に向けた障害福祉サービスの役割、機能の活用
 - (2) 共生型サービスの創設に向けた対応

4. 利用者が安心してサービスを利用し続けるための（利用者のニーズに応じたサービスの継続と充実に向けた）取り組みの推進

- 今回の障害福祉サービス費の改定により、利用者に過度な負担を強いることのないよう、ニーズに応じたサービスの継続と充実に向けた施策の展開を要望します。
 - (1) 利用者のニーズに応じたサービスの継続、充実に向けた加算の充実
 - 食事提供体制加算の継続
 - 送迎加算の創設
 - (2) 各事業における報酬改定のあり方
 - 日中活動系サービスの充実
 - 相談支援事業の充実